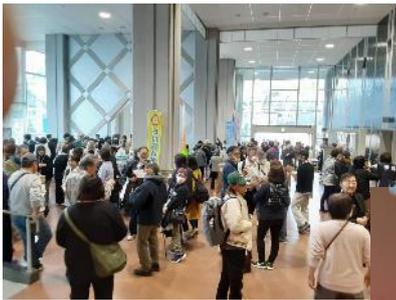


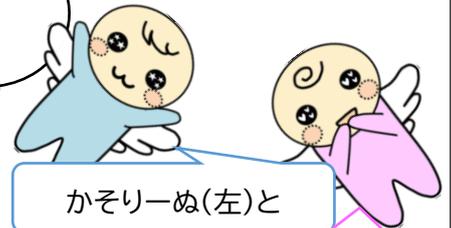


第44回耳の日まつり in 千葉市

3月15日(土)千葉市民会館にて、第44回耳の日まつりが開催されました！当日は千葉市の花「大賀ハス」の妖精『ちはなちゃん』や、加曾利貝塚PR大使の『かそりーぬ』も駆けつけ、1,000人を超える沢山のお客様で賑わいました。



今川竜二ドクターの講演が勉強になりました。法律は改正されても、社会の慣習を変えていくには時間が掛かることが良く分かりました。
(参加者の声)



かそりーぬ(左)と

ちはなちゃん(右)！

よさこいの旗が観客席の上を舞って圧巻でした！！
(参加者の声)

さすが世界ろう者マジック大会2位受賞の実力！小さな箱から色とりどりのハンカチーフが次から次へと…お子様も楽しめる楽しい手品でした♪
(参加者の声)



一部の終盤には、県サ連としてPRさせていただくお時間を頂き、急遽舞台上に上がることとなった県サ連役員たち…！

終了後には「突然のアピール依頼を知ってハニワみたいな顔になりましたが、その場にいた県サ連メンバーが知恵を出し、僭越ながら田中が手短かに述べました。幸い隣に外口会長が立って下さり、最後は助けを求めるようにマイクを渡してしまいました。お騒がせして申し訳ありませんでした。ですが、頼りになる会長がいてくれて大変心強かったです。ありがとうございました。」との報告もありました(^^)！



来年はまた、館山(予定)でお会いしましょう ヽ(^^)！

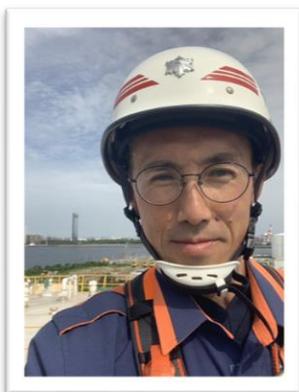
サークル紹介

特集 27 号
中央ブロック (千サ連)
千葉市消防局
手話クラブの巻〜♪

千葉市手話サークル連絡協議会は、7つのサークルで構成されています。いちよの会、稲の会、はなみがわ、指の輪、ひまわりの会、みどりの会、千葉市消防局手話クラブです。

全国的にも消防局と一緒に活動している所は珍しいのでは？

他市の方からも、加盟した経緯を知りたいなど問い合わせがあります。



そこで、今回は千葉市消防局手話クラブにスポットを！！

そして今年の千サ連は、消防局とコラボしたワクワク行事を考え中。

どうぞ期待!(^^)!

(※千葉市手話サークル連絡協議会事務局)

こんにちは！千葉市消防局手話クラブの新濱です。

今回は、皆さんが疑問に思っている？！当クラブの設立までの経過を紹介したいと思います。

クラブの発足は平成14年6月で、消防職員だった山川幹夫さんが発起人として「消防行政において言語聴力障害を有する市民に対応できる技能を有すること」などを目的に掲げ、消防職員約30人で活動を開始しました。

当初は市聴覚障害者協会から講師を派遣してもらい、月に2～3回の研修を行っていましたが、消防職員特有の勤務体制から各回の参加が数人程度だったこともあり、平成19年以降は自主学習と各種イベントへの参加が主な活動となっています。

当方は平成24年からクラブの部長を務めていますが、実は、設立前の平成11年に「消防職員意見発表」といういわゆる弁論大会に、当方が「消防職員に対する手話教育の必要性について」を題材に出場、市大会、県大会、関東大会を通過し、全国大会で入賞したことも、クラブの生い立ちに少し関与しているようです。

今後も、私たち消防が掲げる「市民の安全・安心を守る」ために、少しでも協力できればと考えていますので、細々とした活動ではありますが、御理解いただければ幸いです。

(※千葉市三団体のマリンちば新聞 3月号にも掲載)

第7回役員会議3月9日(日) 県センターにて

総会準備(スケジュール、タイムテーブル、講演会、次年度役員案、その他)

県サ連ホームページ <http://kensaren.sakura.ne.jp/>

発行：千葉県手話サークル連絡協議会 責任者：外口晴久